

学校だより



平成29年4月5日
横浜市立二谷小学校
校長 石川 秀子

それぞれが花咲く毎日を

学校長 石川 秀子

校庭の桜がまるで子どもたちの進級を祝うように咲き誇っています。お子様の御入学、御進級おめでとうございます。本日56名の新1年生を迎え全校児童318名での新年度のスタートです。二谷小学校の平成29年度が始まりました。

私は4月1日に本校に着任いたしました石川秀子です。百十一年の伝統ある二谷小学校に勤務し、子どもたちや多くの地域、保護者、教職員の皆様と共に過ごせることは大きな喜びです。前渡邊校長の学校経営を受け継ぎ、お互いのかかわり合いを大切にチームワークよく学校生活をつくりあげていきます。どうぞよろしく願います。

さて様々な花が咲く春のこの季節に、私は以前先輩から「桜梅桃李」という言葉を教わりました。桜も梅も桃もすももも、それぞれが美しい花です。それぞれの花がその特性を発揮して見事に花を咲かせるように、人もまた各々花を咲かせ、実を結ぶことができます。先輩は卒業する子どもたちへのはなむけの言葉として語りました。

子ども達もまた、素晴らしい花を咲かせる種をもった一人ひとりです。そして大きな花を咲かせすくすくと成長するためには、しっかりと根を張れる土壌と、水と太陽が大切です。学校と家庭と地域とが連携し子どもたちを育む土壌となり、心を潤し正しく判断し実行する力と考える力を育てるよう、ともに働きかけ続けたいと願っています。

新年度早々の4月4日、新年度準備では新6年生が二谷小学校の最高学年として入学式の準備をしてくれました。子どもたちの一生懸命な姿を頼もしくまた微笑ましく思いました。二谷小学校の学校目標は「みとめ合い 学び合い 高め合う子」です。明るい挨拶を交わし合い、ありがたいの感謝の言葉が行き交う、努力を忘れない二谷小学校の子どもたちを、様々な活動を通し皆様とともに育ててまいります。平成29年度も地域の皆様、保護者の皆様のご支援とご協力をよろしく願います。